# 港湾振興便リロ

2017.4

第119号

目 次

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

1 ポートエッセイ ―開港5港150周年の「オオトリ」

2019年1月に新潟港が記念日—

~日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭~

- 2 トピック
  - ●大船渡港湾口防波堤完成式を開催しました

(大船渡市 商工港湾部企業立地港湾課)

●函館港幹線臨港道路湾岸線供用式典を開催しました

(函館市 港湾空港部港湾課)

●金沢港南地区無量寺岸壁再整備事業の着工式典を開催しました

(北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所)

●「飛鳥Ⅱ」酒田港に寄港

(酒田市 商工観光部商工港湾課)

●酒田港古湊ふ頭大型客船対応施設完成式を開催しました

(東北地方整備局 酒田港湾事務所)

- ●「新潟開港150周年記念事業実行委員会 設立総会」を開催しました (新潟開港150周年記念事業実行委員会:新潟県・新潟市・佐渡市・聖籠町ほか)
- 3 お知らせ
  - ◇「湊まち新潟歴史ウォーク2017」参加者募集

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

1 ポートエッセイ ― 開港 5 港 1 5 0 周年の「オオトリ」

2019年1月に新潟港が記念日—

~日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭~

開港5港の中で今年は神戸港が開港150周年を迎え各種記念事業が行われている。1858年、 安政の5か国条約で函館、横浜、新潟、神戸、長崎の5港が欧米5か国に港を開くことを約束して から、この5つの港が順次、世界に貿易の窓を開いてきた。

### (開港が大きく遅れた新潟)

しかし、開港の準備などの差で5港の実際の開港時期は異なっている。新潟港が開港されたのは 1869年の1月1日で、5港の中で最も後塵を拝してしまった。河口港である新潟港は当時、信 濃川が運ぶ土砂で港が浅くなり、大型船は着岸できずに沖に停泊して艀などで積み荷を運んでいた。 この条件の悪さに欧米各国が難色を示し、佐渡の夷港を補助港とすることで開港が認められた。さ らに戊辰戦争の影響もあって、ようやく明治元年に開港に漕ぎつけた経緯がある。

## (来年7月から記念事業)

地元の新潟では先月、新潟県や私の地元の新潟市、さらに佐渡市に加え、いまは新潟東港を共有する聖籠町などが加わって「新潟開港150周年記念事業実行委員会」が設立された。来年7月から2019年末までを事業期間として、大いに盛り上げを図っていく。開港150周年では5港の「オオトリ」を務めることになる。各方面からご助言やご協力を賜れば大変にありがたい。

# (江戸時代は鎖国?)

今年は日本の教育界で「鎖国」という言葉が大きな議論となった。長崎の出島がオランダや中国などと貿易をしており、厳密にいえば日本は江戸時代に鎖国をしていなかった、議論が優勢となり、一時は「鎖国」との言葉を教科書から外す、との結論が出たが、反対意見が多く結局は元に戻ったようだ。

地元の歴史書などによると、新潟湊は江戸時代、日常的に国際貿易をやっていたようだ。日本の 交易拠点には出島に加え、北海道の松前口と対馬口、さらに琉球口があったという。新潟湊の国際 交易の主役は薩摩船だった。琉球を抑えて国際貿易のノウハウを身に着けた薩摩船が、琉球口と松 前口を日本海でつなぎ、北前船の最大寄港地であった新潟湊を中継基地として活用していたようだ。 当時の新潟湊はあらゆる物資が最も安価で手に入る湊として知られていたという。

# (新潟湊が天領に)

しかし、江戸幕府の建前は「鎖国」であり、天保期には新潟町の廻船問屋が関わった抜荷(密輸品)が2度にわたり摘発をうけた。新潟湊を所管していた長岡藩は「監督不行届き」とされ、新潟湊は天領としてお召し上げ(上知)されてしまった。これが開港5港の1つに新潟が選ばれる直接のきっかけになり、薩摩と長岡藩は戊辰戦争の中でも最激戦となった戊辰・北越戦争の当事者となるのだから、歴史とは不思議なものである。新潟の開港150周年は、そんな新潟の歴史を再発掘し、「港町にいがた」の未来を展望する節目にしていきたい。

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

### 2 トピック

●大船渡港湾口防波堤完成式を開催しました

(大船渡市 商工港湾部企業立地港湾課)

東日本大震災の大津波によって倒壊し、国が復旧工事を進めていた大船渡港湾口防波堤の完成式が、長坂康正内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官、黄川田徹衆議院議員、橋本英教衆議院議員、平野達男参議院議員、木戸口英司参議院議員、田村誠岩手県議会議長などのご来賓を迎え、約150名の出席のもと、平成29年3月19日(日)に大船渡市魚市場で行なわれました。

完成した湾口防波堤は、高さ11.3mとなり、中心市街地を津波から守る防災施設の要として、 高い安全性を確保してくれます。

港湾施設の復旧によって、海上貨物取扱量の拡大やクルーズ客船を中心とした観光客による賑わいの創出など、大船渡港を核とした復興が加速するものと期待されます。

式では、大船渡保育園児による「しし踊り」や関係者によるテープカットで完成を祝うとともに、 津波発生時には、高台への避難が極めて重要であることから、防災意識の向上を図ることを参加者 全員で誓い合いました。



復旧が完了した湾口防波堤



関係者によるテープカット

(函館市 港湾空港部港湾課)

平成29年3月25日(土)、函館港幹線臨港道路湾岸線の全線開通を記念して、地元選出国会議員をはじめ、函館市長、北斗市長、港湾関係者など約100名がご臨席のもと供用式典を開催しました。

式典は、工藤函館市長及び菊池函館開発建設部長からの主催者式辞で始まり、宮崎港湾局計画課 長の挨拶のほか、来賓として出席された前田衆議院議員と逢坂衆議院議員から祝辞を頂きました。 その後、森函館港湾事務所長から事業概要説明を行いました。

当日は一面の青空の下、テープカットに引続き走り初めが行われました。

今回供用する函館港幹線臨港道路湾岸線は、北海道・本州間の物流の大動脈である函館港において、幹線臨港道路湾岸線のミッシングリンクが解消され、全長6.6km が結ばれました。

これにより、ふ頭間をつなぐ臨港交通軸が完成し、フェリー貨物をはじめとする港湾物流の円滑 化が図られるとともに、災害時における緊急物資の輸送経路が確保されることになりました。



工藤 函館市長



菊池 函館開発建設部長



宮崎 港湾局計画課長



前田 衆議院議員



逢坂 衆議院議員



テープカットの模様

# ●金沢港南地区無量寺岸壁再整備事業の着工式典を開催しました

(北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所)

平成29年3月25日(土)、「金沢港南地区無量寺岸壁再整備事業着工式典」が金沢市の無量寺 ふ頭で開催され、国土交通省菊地港湾局長をはじめ谷本石川県知事、馳衆議院議員、岡田参議院議員、山田参議院議員ら地元国会議員のほか、米澤県議会議長、山野金沢市長など関係者約120名 が着工を祝うとともに、工事の安全と早期の完成を願いました。

金沢港南地区無量寺岸壁は、昭和48~50年度にかけて整備され、老朽化が顕著となっていることから、本事業により老朽化対策を行います。

また、老朽化対策にあわせて耐震改良を行うことにより、金沢港で初めての耐震強化岸壁として 整備するとともに、増大するクルーズ船の受け入れ拠点と緊急物資の輸送拠点としての機能を確保 します。

開式前にアトラクションで式典に華を添えた、地元粟崎児童館バトントワリングクラブのメンバーと来賓の方々により「鍬入れ」を行い、工事の着工を祝いました。



地元児童と一緒に鍬入れ







開式前のアトラクション

4月1日(土)に酒田港北港地区古湊ふ頭に「飛鳥Ⅱ」が寄港しました。

着岸後に行なわれた歓迎式典では、丸山至酒田市長より5月20日の「酒田まつり」で使用される山車「日吉丸」の上から「飛鳥II」の乗客の皆様へ歓迎挨拶が行なわれました。その後、弦巻伸酒田商工会議所会頭より酒田のシンボルである「酒田獅子」の記念品の贈呈、後藤仁(ひとみ)酒田市議会議長より、酒田でつくられたブランド米「つや姫」が乗客の皆様に贈呈されました。

前港出港時には降雨となった「飛鳥Ⅱ」は、酒田港寄港時には晴天に恵まれ、乗客の皆様は、山 形県を縦断する最上川での舟下りにお出かけになったり、酒田舞娘(まいこ)の演舞鑑賞や「西の 伊勢参り、東の奥参り」と言われた羽黒山への参詣に出かけられ、山形の観光を楽しまれました。

出港時には、「やまがた 愛の武将隊」の演武とともに、羽黒山の山伏による法螺貝の吹奏、バルーンリリースにより、乗客の皆様を見送り、「飛鳥 II」は次の寄港地となる青森港へ出港されました。



丸山 至 酒田市長より 乗客の皆様へご挨拶



酒田クルーズガールズより 小久江飛鳥 II 船長へ花束を贈呈



弦巻 伸 酒田商工会議所会頭より 酒田のシンボル「酒田獅子」の贈呈



後藤 仁(ひとみ)酒田市議会議長より 乗客の皆様へブランド米「つや姫」の贈呈



「やまがた 愛の武将隊」による演武



次港へ向け出港

●酒田港古湊ふ頭大型客船対応施設完成式を開催しました

(東北地方整備局 酒田港湾事務所)

酒田港北港地区古湊ふ頭において当事務所が進めてきた改良工事が完成し、平成29年4月1日 (土)、同ふ頭で「酒田港古湊ふ頭大型客船対応施設完成式」を開催しました。

今回の工事では、船の接岸時の衝撃を和らげる受衝板付防舷材22基を新設するとともに、係船柱14基を150t型に更新することにより、東北地方で初めて16万トン級の大型クルーズ船の受入が可能となりました。

また完成式では、菊地港湾局長の主催者挨拶の後、加藤鮎子衆議院議員、吉村美栄子山形県知事、 丸山至酒田市長、新田嘉一庄内開発協議会最高顧問・平田牧場グループ会長から祝辞を頂きました。 その後、当事務所の上原所長が工事報告を行い、この日寄港した「飛鳥 II」をバックにテープカットが行われました。

今年は、酒田港で外国船社のクルーズ船としては初寄港となる「コスタ ネオロマンチカ」の寄港が予定されており、来年には「ダイヤモンド・プリンセス」が酒田港に初寄港することが発表されるなど、今後も日本船社・外国船社を問わず、多くのクルーズ船の寄港が期待されます。



係船柱・防舷材整備状況



飛鳥Ⅱ寄港時の状況



菊地 港湾局長



加藤 衆議院議員



吉村 山形県知事



丸山 酒田市長



新田 庄内開発協議会最高顧問



上原 酒田港湾事務所長



テープカットの様子

●「新潟開港150周年記念事業実行委員会 設立総会」を開催しました (新潟開港150周年記念事業実行委員会:新潟県・新潟市・佐渡市・聖籠町ほか)

2019年1月1日の新潟開港150周年に向け、記念事業の運営や計画に当たる「新潟開港 150周年記念事業実行委員会」の設立総会が3月28日、新潟市のホテルで開催されました。

実行委員会は、行政や企業、市民団体など125団体で構成され、名誉会長に米山隆一新潟県知事、会長に篠田昭新潟市長が選出されました。

実行委員会では、「みなと文化の深化と次世代への継承」「みなとまちを中心とした新潟ブランドの情報発信」「新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築」「港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造」「活気と魅力があふれる『みなと』の創出」の5項目を基本方針に掲げ、交流人口の拡大と地域の活性化につなげていくために、2018年7月から2019年12月までを記念事業コア期間とし、記念イベントを順次開催していきます。



実行委員会会長 篠田昭 新潟市長



設立総会



信濃川河口部に開かれた「みなとまち新潟」

### 3 お知らせ

◇「湊まち新潟歴史ウォーク2017」参加者募集

湊まち新潟歴史ウォーク実行委員会

信濃川河口に位置する新潟港は、古くから、内陸水運と北前船を始めとする日本海沿岸海運の拠点として賑わってきた港です。また、安政の5ヵ国条約により開港五港の一つに指定されましたが、明治維新の動乱などにより遅れたものの明治元年(西暦1869年)に開港し、来年度中に(平成31年1月に)開港150年を迎える長い歴史を持つ港です。

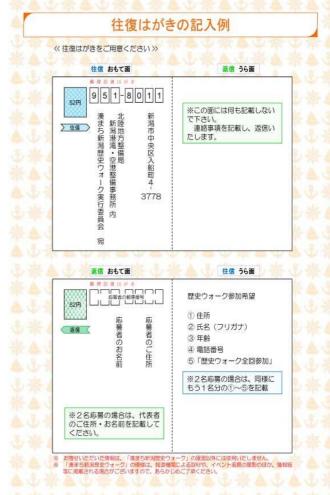
この新潟港の歴史・湊まち新潟の文化・新潟港の現状をご理解いただけるよう5月から11月までの月1回(全7回)、土曜日の午前中に新潟市内のみなとゆかりの地を歩いて巡るウォーキングイベントが「湊まち新潟歴史ウォーク」です。今年、節目の10年目の実施となります。

主催者である「湊まち新潟歴史ウォーク実行委員会」は、湊まち新潟歴史ウォークを通じて新潟港と湊まち新潟の発展に寄与することを目的に、港と関わりの深いNPO法人などにより立ち上げられた団体で、今年も「湊まち新潟歴史ウォーク」の参加者を募っています。

応募は、往復はがきに住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・7回全て参加する旨を明記のうえ、4月26日(水)必着で、〒951-8011 新潟市中央区入船町4-3778(新潟港湾・空港整備事務所内)「 湊まち新潟歴史ウォーク実行委員会 」あてにお申込みください。1通で2名様まで応募ができます。たくさんの方のご応募をお待ちしております。

URL http://www.niigata.pa.hrr.mlit.go.jp/file/press/2017/2017-0410press-walk.pdf





\*:\*:\*:\* 本メールマガジンに関するお問い合せやご意見、また情報の送り先 \*:\*:\*:\*

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL: 03-5776-0630 FAX: 03-5776-0631

e-mail: bcf06323@nifty.com